



夏も近づく・・・

コロナはもう去れ!!

■新しい常識の中で(その後)副会長 宮本 信

皆様いかがお過ごしでしょうか？ 丁度1年前のシニアクラブ便り2021年5月号巻頭のご挨拶で「新しい常識の中で」と題し、コロナ禍にあってマスク着用やアルコール除菌、検温などが生活の常識になること、一方世界の政治では民主主義や人権尊重が衰退し、国家による強権的な動きが強まっていることについて述べました。



それから一年が経過した今、状況は改善されたでしょうか？

コロナについては、新規感染者数は昨年同時期を一桁上回っている状況にあるものの、オミクロン株は重症になりにくく、医療体制の逼迫度も緩和されていることから、世の中では旅行もイベント開催も徐々に以前に戻しても良いような雰囲気になっています。シニアクラブでも久しぶりに会員の皆様が集える場を設定したいと考えており、具体的な内容も検討していますが、いずれにしてもワクチン接種など「新しい常識」である感染対策の徹底が求められます。

他方世界情勢は、さらに深刻な状況に直面しています。

ロシアがウクライナに軍事侵攻し、一般市民を含む多くの犠牲者を出していると報じられています。世界の大部分はロシアを非難し、ウクライナ支援を表明しています。

私もロシアがなぜ軍事侵攻する必要があったのか全く理解できません。報道によればプーチン大統領はウクライナ東部のロシア系住民の命を守るためと主張しているそうですが、もし本当にウクライナが東部ロシア系住民を弾圧していたとしても(政府の意向に沿わない言論を排除するような国の主張は到底信用できませんが)軍事侵攻により一般市民を虐殺するなど絶対に許されるものではありません。

実は私はこれまでロシアに関して比較的好ましい印象を持っていました。

クラシック音楽ファンで、ロシアの作曲家であるチャイコフスキーやラフマニノフ、ストラビンスキーの曲は特に好きでしたし、過去にモスクワとウラジオストクを実際に訪問したこともあり、本場のロシア料理やウォッカも大好きです。それがこのような事態となって残念でなりません。

侵攻開始から2カ月が経ちました。紛争は収まる気配は見られませんが、ウクライナ国民の置かれた極めて困難な状況が一日でも早く解消されることを祈るばかりです。

■ 活動報告 4月23日「Online 会合報告」

最近のテレビを観ていると、青と黄色が組み合わされた場面が多いように感じています。



意識したわけではありませんが今回の背景もその色取りとなりました。テーマは「世界の国歌を通じて歴史を学ぼう」です。

国歌の曲・歌詞にはその国の歴史や背負ってきた運命のようなものが滲み出ているようです。

Youtube で世界の国歌を聴くことができます。今回はソ連時代および現在のロシアとウクライナをはじめとする周辺国に焦点を合わせて、歴史を眺めてみました。報告は次をご覧ください。

<http://jvc-senior.com/20220423online.pdf>

■ トピックス「ロシアからの企業撤退」

ロシアのウクライナ侵攻を受け、ロシアに進出していた日本を含め海外企業が一斉にロシアからの撤退を決めたとの報道がありました。

<https://www.dailyshincho.jp/article/2022/04120604/?all=1>

その中で、「丸亀製麺」はロシア側のフランチャイズ企業と協議し、3月末には全店閉店で合意していたとのこと。しかし・・・

その後4月に入って、それらの店では店名が「マルガメ」から「マル」と変更されただけで、店内の様子は全く変わらず、メニューも同様のまま営業が続けられていると伝えられていました。

小紙の先月号でモスクワのマック1号店の話をしましたが、ロシアではこの丸亀製麺の店舗も人気があったようです。天かす、ネギかけ放題、お茶無料といった日本式のサービスも売り物になっていたようで、フランチャイズ契約解除後もそのまま店の営業が続けられているとのことでした。

これは確かにルール違反です。しかし、報道の中には「突然の戦争で、経済制裁に巻き込まれてしまった地元企業も従業員もかわいそう…」とも書かれていました。複雑な心境です。

■ 事務局から

GW初日から高速道路の渋滞が発生しています。コロナによる様々な規制も緩和されて、人々も活発に動き出した様です。

巻頭写真には「コロナはもう去れ!!」と書き加えたが、はて？去りますかね。上手に付き合っていくしかないのでしょうか。「集いの会」を7月に開催します。別途のご案内をお待ちください。 事務局長 田代 周

■ 八十八夜（5月2日）

「茶摘の歌」 <https://youtu.be/fB2p2sUoXDI>

立春から数えて88日目の日を八十八夜と呼び二十四節気以外の雑節の一つに挙げられています。

5月2日（閏年では5月1日）がその日に当たり、種まきや田植えをする目安の日となっています。とりわけ、童謡唱歌で『夏も近づく八十八夜・・・』と昔から歌われてきたように「茶摘み」の季節でもあります。



入間市茶どころ通り [0122.1530 \(iruma-kanko.jp\)](http://0122.1530(iruma-kanko.jp))

「茶どころ通り」は、日本でも有数の約6kmにわたる茶畑の一本道です。（入間市観光協会）

圏央道の入間ICの近くから西に向かって青梅市に至る道の両側一面に茶畑が広がっています。

静岡茶、宇治茶、狭山茶は日本の三大銘茶と呼ばれています。しかし、ここは入間市。

入間の人にしてみると『狭山』の名がついているのが少し悔しいようです。ネットで調べてみても、狭山茶の約6割が入間市で生産されていて、狭山市での生産量は所沢市について3番目とのこと。

入間市博物館 <https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>の「狭山茶の歴史」を見ると『狭山茶ブランドの誕生』とともに『入間が主産地なのに、どうして狭山茶なの?』といった説明欄までありました。

狭山市の誕生は昭和29年、入間市が41年で『狭山』というブランドを先取りされてしまったようです。今さら“入間茶”と銘打って市場で受けてもらえるでしょうか。知る人ぞ知る入間の狭山茶です。

そんな事どうでもいいや、私は美味しいお茶を飲みたいのだ。入間人よ頑張れ!!

あなたの笑顔をみたくら
～ここからつくる、みんなの未来～
JAM代表 参議院議員候補予定者
村田きょうこ
JAMホームページから

<https://murata-kyoko.com/profile/>

私たちの仲間を国政に!!